

宮崎県

とくしげ
徳重紅梅園

伝統農業と加工を後世に伝える



大淀川源流傾斜地に広がる、25年生の梅園



大根占生産組合の発足会



草生栽培の草刈り。年に6~8回行う

取組概要

- S37年より梅の有機栽培に着手。S48年頃から加工販売に取り組み。H元年より大淀川源流域で梅園を拡大。
- 梅の栽培は有機肥料主体で、徹底した草生栽培で土作り。青梅は伝統の無添加により梅干、梅肉エキスに加工。
- H5年以降、取組が度々全国報道。報道を見た大根占町の梅生産者グループから要請を受け有機栽培を指導。青梅を買い取る等支援。

活動成果

- 梅園の造成で大淀川源流の集落の過疎化対策と景観保全・自然保護に貢献。周辺にも植林が進展。
- H5、H9、H14、H29年にNHK等で全国報道。多くの顧客を確保。無添加の梅加工品が高く評価。発送商品の緩衝材として入れる自家生産の有機野菜の味にも感動と感謝の声が届く。
- 当社の梅干しが、H30年度に一般社団法人食品産業センターの「本場の本物」に「都城盆地の鶯宿梅梅干」として認証される。

コミュニティ部門

のべおか

延岡ふるさとツーリズム協議会

農泊事業によるインバウンド誘致



中国友好ロボット訪問団生徒と延岡農泊従事者



農泊先での中国の児童



奇跡の清流でカヌーツーリング

取組概要

- 市内に一般的な観光ツアーに対応できるホテルがわずかしかないという現状を打開し、誘客の拡大、未来のリピーターを創出していくため、修学旅行誘致を目標に民泊事業を推進。H29年に設立。
- 農泊家庭のレベルアップ、体験メニューの充実、教育旅行の誘致活動を実施。
- 農業・漁業はもちろん、「海」は釣り・クルージング等、「川」はカヌー・溪流フィッシング等、「山」はハイキング・トレッキング等、自然を活かした多くの体験メニューを提供。

活動成果

- H30年は延岡市初となる海外(台湾)からの修学旅行生32名を農泊をコンテンツに受入。R1年には農泊と産業視察をコンテンツに中国本土からの教育旅行誘致に成功。国内からの問合せも増えている。
- インバウンド受入数はH29年20名、H30年78名、R2年は88名。宿泊数はH29年175名、H30年300名、R1年305名であり、インバウンド誘致により宿泊数は大幅に増加。

延岡ふるさとツーリズム協議会
宮崎県延岡市東本小路131-5

<http://tourism-nobeoka.jp/>
Tel: 0982-29-3835 Fax: 0982-29-3835

あや ゆ がく
綾結い学アーカイブス

綾町の自然共生理念を世界へ



食養講座の様子



神楽イベント



自然農体験合宿

取組概要

- H27年設立。自然生態系農業の町としてのブランド力を高めるため、「食養講座」を開催。材料に綾産の野菜を使い、物産館の販売促進を進めた。
- シュタイナー教育に取り組む関東の2校の農業実践のカリキュラムを綾で出来るよう誘致。10軒ほどの農家と自然農体験合宿を進めているが、今年度はコロナのためすべて中止。
- 自然との共生をテーマにした町の文化の1つとして神楽の復元に着手。

活動成果

- 「食養講座」や薬膳のお弁当等の材料に綾産の野菜を使い、町の物産館の販売促進に貢献。
- 自然との共生をテーマにした町の文化の1つとして神楽の復元に着手。これらの取り組みが評価され、経済産業省の観光マスタープラン整備事業の計画作成に参画。
- 地域で取り組む国土交通省のかわまちづくり推進事業のコアメンバーにも選出される。

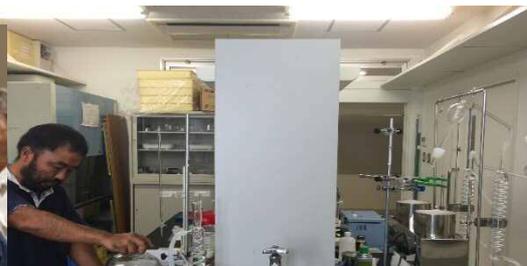
ビジネス部門

かつき
合同会社香月ワインズ

手作りナチュラルワインの参加型ワイナリー



サポーターによる選果作業



大学との協働研究で試験醸造



大学生による課外実習(移植作業)

取組概要

- ニュージーランドとドイツで10年間ワイン醸造を学び、そこで経験した家族やコミュニティを軸としたワイン造りを地元宮崎で挑戦すると決意し帰国。サポーターと共に造る参加型ワイナリーとして平成26年に会社設立。平成29年に初収穫。
- ヨーロッパのワイン用品種を日本の栽培技術を適合し、化学肥料、殺虫剤、除草剤を使用せず持続可能なブドウ栽培を実践。無添加無濾過のワインを生産。
- 県内大学と連携し、共同研究による試験醸造、学生の課外授業の受け入れ、試験圃場として一部区画の提供を実施。

活動成果

- 2020年7月末綾町のふるさと納税返礼品に選定される。当社ワインを通して地元自治体のアピール、納税誘致に貢献。
- ワイン特区の認定を得ている綾町において、当社の醸造設備を提供することで、醸造所を一から建設することなく低予算での新規参入をサポートすることが可能。果樹生産、ワイン産業の振興および町の発展に貢献できる体制を構築。
- ワイン造りに興味をもった学生・若者をニュージーランド等のワイナリーへ紹介し、派遣。本場のワイン造りを体感してもらう機会の創出に寄与。

合同会社香月ワインズ <https://www.katsukiwines.com/>

宮崎県東諸県郡綾町大字北俣2381番地 Tel・Fax:0985-40-1565

ビジネス部門

むらしよ くらぶ
村所女性部いとまき倶楽部

「生涯現役・元気村」の女性グループ



催事での物販



加工品原料の収穫



中学生と作成した商品ラベル

取組概要

- H23年設立の女性グループ。米良糸巻大根・ゆず等を使った漬物、うめぼし、よもぎ団子等の加工品を製造。
- また煮しめ、山菜おこわ、お寿司、おはぎ等総菜を村内外のイベントで販売。毎週火曜日に弁当販売も実施し、昨年からの配食サービスも開始。
- 原材料は、原則村内で生産されたものを使用。米や野菜は会員が生産したものを買い上げ。梅とシソは、未利用農地で共同の管理・収穫を実施。

活動成果

- 加工品等の製造販売活動、イベントへの参加など高齢者・女性の活躍により、村のスローガンである「生涯現役・元気村」を体現。
- 米良糸巻大根は西米良村の伝統野菜であり、加工品ができたことで利用の幅が広がり、生産も拡大。
- 原材料の会員からの買取りや共同栽培で、農地の維持、農家の所得向上にも繋がっている。

【問合せ先】 西米良村農林振興課
宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地

Tel: 0983-36-1111 Fax: 0983-36-1207

さくごやむら
おがわ作小屋村運営協議会

令和の桃源郷 小さな村の大きな挑戦



新鮮な山菜を求め賑わう山菜まつり



食事提供施設

16皿の小皿が並ぶおがわ四季御膳

取組概要

- 当地区はH17年に高齢化率70%を超え集落消滅の危機にあった。地域住民と役場の二人三脚による作小屋村づくり事業をスタートさせ、H21年に協議会を設立し、拠点施設を整備・開業した。
- 毎年5月3日に「カリコボーズの山菜まつり」を行い、地元出身者や縁のある人が集う機会となっている。
- レストランおがわ作小屋村では、毎月その時期に採れる地域内の食材から小皿料理のメニューを検討し、工夫しており、毎月楽しみに訪れる方も多い。

活動成果

- 地域の魅力を磨き上げ発信していくことで、生きがいと誇りを与え、活力を生み出してきた。
- おがわ作小屋村の運営を通して、村外からの来訪者をもてなす気持ちや、交流する姿勢が磨かれてきた。それがU・Iターン者が地域の人たちと活動する機会の創出や移住者の増加にも繋がっている。
- 中秋の名月頃に月の明かりで楽しむ「月の神楽」を開催し、伝統文化の継承にも寄与している。

47 宮崎県 西米良村

鳥獣被害防止

ジビエ

雇用

ビジネス部門

めら 株式会社米良資源開発

山の恵み「西米良ジビエ」



ジビエ加工品



ジビエフェア 鹿肉の竜田揚げ



細切室での解体作業

取組概要

- 地区の活性化と雇用創出、捕獲促進による獣害の軽減が期待されるため、H26年にジビエ事業に取り組む。最新機材を導入し、処理時間を短縮。徹底した品質・衛生管理を実施。
- 県内外の加工業者と提携し、ジビエ加工品9種類を開発。今後、シカ肉のアヒージョなどを販売予定。
- 村と連携し、ジビエを村の地域活性化の中核に位置付け。H27年より毎年「にしめらジビエフェア」を開催。「西米良ジビエ」ブランド推進を行っている。

活動成果

- H30年に新たな施設を建設し、搬入個体をレールに吊るしたまま洗浄、処理、保存まで一連の流れでできるモデル的な設備で解体処理を行っている。
- 施設への視察者、観光客の購買による所得向上、地元住民や地域おこし協力隊の雇用を生み出し、さらに被害多発地区での捕獲が進み、被害軽減効果も見られる。
- H30年度に九州初、全国では4番目となる「国産ジビエ認定制度」を取得。

株式会社米良資源開発

宮崎県児湯郡西米良村大字上米良154番地5 Tel・Fax:0983-36-1560

コミュニティ部門

やきはた そばくらぶ
焼畑蕎麦苦楽部

山は友達・命の源 ～続けることが力～



取組概要

- H20年設立。様々な職種、年代で構成される12名で活動。究極の自然農法「焼畑」の継承のため、組織的な焼畑の取組や地元小学校の焼畑体験学習など各種普及活動を実施。
- 地元の桑の葉やよもぎを使ったお茶商品、雑穀を活用したクッキー等の加工品を開発。村内外の各種イベント等で販売。
- 体験・交流施設を開設し、焼畑やソバ打ち等の体験プログラムを提供。

活動成果

- 設立時に代表のみが行っていた「焼畑」は、熊本県水上村にまで広がった。椎葉村を含む高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定の大きな評価要素となった。
- 商品販売額は右肩上がりとなっており、地元資源のPR及び経済効果の創出に繋がっている。
- 「海山交流植樹祭」や「農泊」(椎葉焼畑ツアーの開催等)、「鳥獣被害の防止」、「景観保全」など、幅広い取組を実施し、地域の活性化に大きく寄与している。

焼畑蕎麦苦楽部

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野843番地

<https://www.facebook.com/yakihatasaoba/>

Tel:0982-67-5516 Fax:0982-67-5516